

Economic Indicators

発表日：2020年7月8日(水)

景気ウォッチャー調査(2020年6月)

～自肅要請解除から街角景気は大きく持ち直すも、先行き不透明感は依然として強い～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

エコノミスト 奥脇 健史 (TEL:03-5221-4524)

	景気の現状判断(方向性)(季節調整値) 合計				景気の先行き判断(方向性)(季節調整値) 合計				
		家計動向 関連	企業動向 関連	雇用関連		家計動向 関連	企業動向 関連	雇用関連	
2019年	6	44.1	43.9	43.5	47.1	45.6	46.0	44.0	46.2
	7	41.6	40.7	42.8	45.4	44.4	44.4	44.8	43.7
	8	43.1	43.2	41.8	44.7	40.5	39.3	42.5	43.9
	9	46.6	47.6	44.7	43.7	37.8	36.7	39.3	41.8
	10	36.9	34.9	41.0	41.1	44.3	44.8	44.0	41.2
	11	38.8	38.3	39.2	41.1	45.9	47.1	44.0	42.2
	12	39.7	39.0	41.2	40.8	45.5	46.1	44.7	43.0
2020年	1	41.9	42.2	41.7	39.8	41.8	42.4	40.9	40.0
	2	27.4	26.1	30.1	30.4	24.6	23.3	26.3	29.9
	3	14.2	12.6	19.2	13.6	18.8	18.9	19.2	17.6
	4	7.9	7.5	9.9	6.3	16.6	18.3	13.9	11.4
	5	15.5	16.4	15.0	10.7	36.5	38.9	31.3	31.5
	6	38.8	43.3	30.4	27.4	44.0	45.7	39.9	41.9

(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

○自肅要請の解除から、6月の街角景気は持ち直す

内閣府から発表された2020年6月の景気ウォッチャー調査(季節調整値)(調査期間:6月25日～月末)は、現状判断DIが前月差+23.3pt、先行き判断DIが前月差+7.5ptと、5月からさらに持ち直しをみせた。緊急事態宣言が5月末に解除され、6月19日に都道府県をまたぐ移動も解除されたことを受け街角景気は持ち直しをみせた。また、特別定額給付金の支給がすすみ消費が増えたことなども街角景気の改善に影響したとみられる。今後も経済活動再開がすすむことや政府の需要喚起策などにより、景気の持ち直しが期待がされている。とはいえ、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻すにはまだ時間がかかるとの声も多く、厳しい状況は続く見通しだ。感染拡大の第2波も懸念されており、先行き不透明感は依然として強い。

○現状：緊急事態宣言解除の影響が本格化、現状判断DIは大きく改善

現状判断DI(季節調整値)の内訳をみると、家計動向関連DIが前月差+26.9pt、企業動向関連が同+15.4pt、雇用関連DIが同+16.7ptとなった。緊急事態宣言解除の影響により5月から大きく改善したものの、景気判断の境目である50を下回る水準であり、厳しい状況は続いている。

家計動向関連のコメントをみると、「新型コロナウイルス感染拡大初期に比べ、客が前向きな心境になりつつある。前年の勢いはないが、休業明けから徐々に回復の兆しがみえてきている(百貨店)。」と徐々に消費が持ち直していることがうかがえる。また、「特別定額給付金の支給により、

高額商品が動いている。特に白物家電が好調で、ちょうど梅雨の時期であるため、エアコンの販売が増えている（家電量販店）。」や「特別定額給付金が支給されてから高額商品を購入する客が増加している（家電量販店）。」など、特別定額給付金の支給を受け、家電量販店を中心に耐久消費財などの消費が伸びているようだ。実際に現状判断D I（原数値）をみると家電量販店は75.0と景気判断の境目である50を超えており、家計動向関連全体（同：42.4）を大きく上回っている。とはいえ、「インバウンド需要はほぼ皆無で、まだまだ在宅勤務者も多いため、以前の来客数のレベルには戻っていない（コンビニ）。」など、感染拡大前の水準には及ばないとの声が多い。

企業動向関連のコメントをみると、「新型コロナウイルスの感染拡大による自粛や経済活動の停滞により、個人消費のみならず企業業績にも大きな影響が出ており、受注、販売共に厳しい状況が続いている（プラスチック製品製造業）。」や「景気は悪くなっており、回復の見通しも不透明である（鉄鋼業）。」など、D Iは持ち直しをみせたが、厳しい状況が続いているとの見方が多い。一方、「社会全体としては新型コロナウイルスの影響を強く感じるが、通信業界では、リモートやオンライン関係での需要増加が顕著になってきており、3か月前と比較すると、景況感は改善傾向にある（通信業）。」など、持ち直しをみせている業種もあるようだ。

雇用関連のコメントをみると、「求人数は5月で底を打ったとみられる。若干ではあるが、飲食や小売では募集を開始している。人を採用しやすい市場になっていることで、介護や建設などの求人も堅調に推移している（求人情報誌製作会社）。」と一部では雇用の持ち直しを示すコメントがみられた。とはいえ、「新型コロナウイルスの影響により、人員を維持することが優先となり、企業の採用活動が以前に比べて抑制されている（職業安定所）。」など、まだまだ厳しい状況であることがうかがえる。

○先行き：先行き判断D Iは5月に続き持ち直すも、依然として不透明感は強い

先行き判断D I（季節調整値）の内訳をみると、家計動向関連D Iが前月差+6.8pt、企業動向関連が同+8.6pt、雇用関連D Iが同+10.4ptと、先行き判断D Iも3項目すべてが改善した。

家計動向関連のコメントをみると、「日常生活が安定してくると、来客数もコンスタントに安定してくる（高級レストラン）。」と、経済活動が再開されたことで、今後は持ち直していくとの声がみられた。また、「移動制限の解除により徐々に県外からの来客数も増加してきている。今後もGo To Travelキャンペーンなどの施策により徐々に回復していく（観光名所）。」や「Go To Travelキャンペーンが少しずつ浸透して、景気が良くなると見込んでいる（旅行代理店）。」など、観光関連業を中心に移動自粛の解除や政府の対策の影響を期待する声がみられた。一方、「先行きが全く見通せない。「新しい生活様式」では小規模事業者はやっていけない（衣料品専門店）。」や「今月は5月までの反動でやや良くなかったが、今後しばらくは新型コロナウイルスへの警戒のため大きな回復はみられないのではないかとみている（通信会社）。」など、先行きの不安を示す声もみられた。

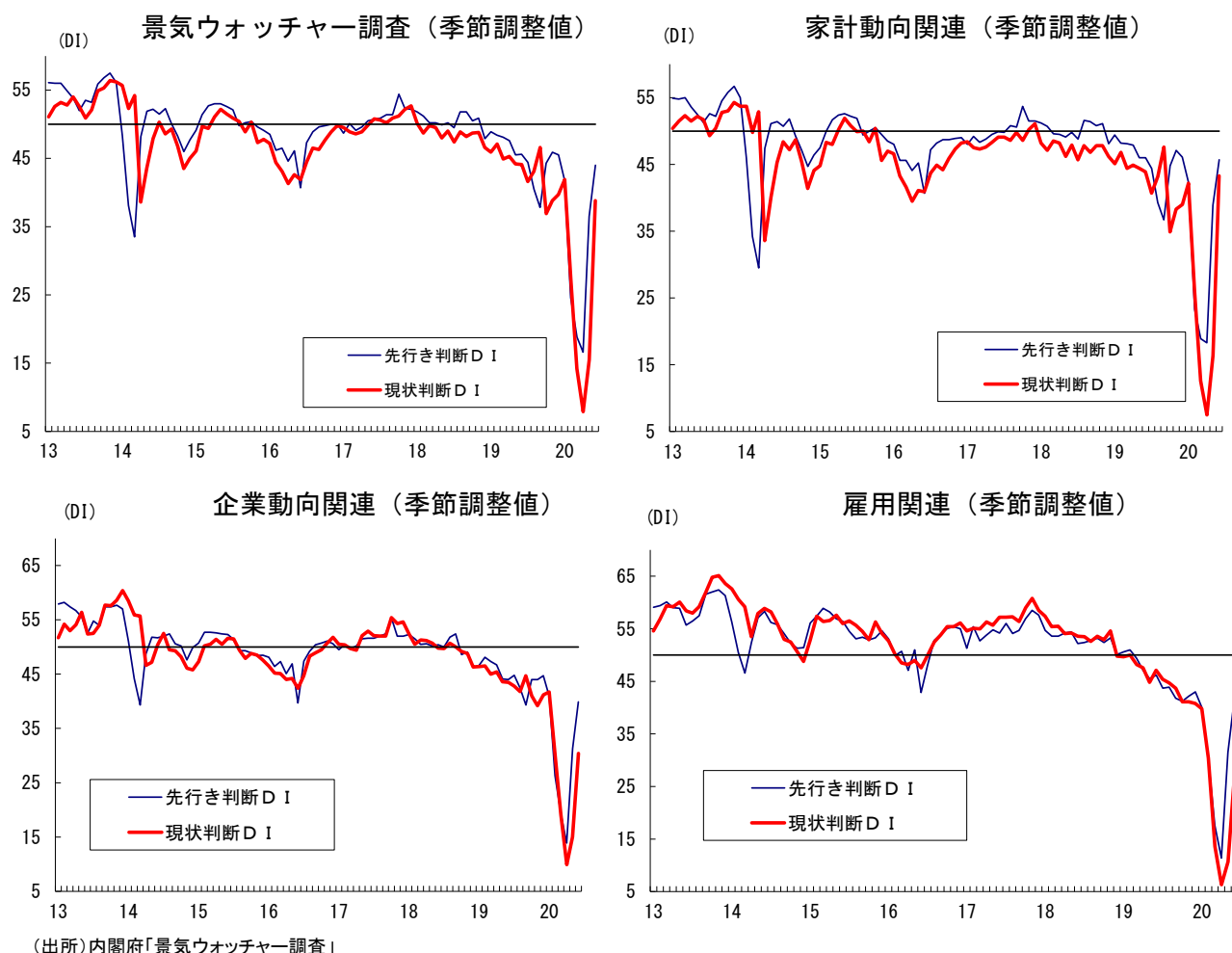
企業動向関連のコメントをみると、「新型コロナウイルス発生以前の状態にどこまで近づき、回復するかといったところではあるが、現状よりは確実に良くなるだろうと考えている（食料品製造業）。」など、今後の持ち直しを期待する声がみられた。一方で、「3～5月頃まで外出自粛要請で動きがなかったが、解除後は止まっていた受注が動き出している。ただ、夏から秋に向けて新規の受注があるか不透明である（木材木製品製造業）。」や「今後の民間工事では、新型コロナウイルスによる打撃で、企業の設備投資意欲は縮小していく。建設業では手持ち工事がなくなり、新たな受注も相当困難になると予想される（建設業）。」など、持ち直しはみせていても先行きは依然不透明との

見方が多かった。

雇用関連のコメントをみると、「社会経済活動が動き始め、求人数が増加している業種もあり、新型コロナウイルス禍から立ち直り始めているとみられる一方、今後の雇用調整の情報も多く聞かれる（職業安定所）。」や「新型コロナウイルス対策で、在宅ワーク等、社員も含め要員の配置転換を検討し始めた企業もあり、全体的に人員削減傾向で失業者は増えるのではないかと（人材派遣会社）。」など、足下で雇用情勢が悪化する中、先行きも厳しい状況は続く見通しである。

○7月以降も持ち直しを見込むも、感染拡大第2波など先行き不透明感は強い

6月の景気ウォッチャー調査は、現状判断D I、先行き判断D Iともに5月からさらに持ち直しをみせた。緊急事態宣言解除や都道府県をまたぐ移動自粛要請の解除などから、6月の街角景気は改善した。景気判断理由集のコメントには「特別定額給付金」や「Go To Travel キャンペーン」を含むコメントも多数みられ、政府のコロナ対策の効果や今後の対策への期待を示した。とはいえ、新しい生活様式が求められる中、景気の先行き不透明感は依然として強い。企業活動は依然感染拡大前の水準に及ばず、雇用情勢も厳しい状況が続く見通しだ。また、景気判断理由集（先行き）には「第2波」を含むコメントが159コメントみられ、再度の感染拡大の懸念も大きい。7月以降も街角景気は持ち直しをみせる可能性が高いが、景気が感染拡大前の水準に戻るにはまだまだ時間がかかりそうだ。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。